

2023年3月23日（木曜）

全労金2023春季生活闘争ニュース・第27号

～勝ち取ろう賃金改善！“みんなの春季生活闘争”で生活不安を払拭しよう！～

《合意速報No. 5》

近畿労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

近畿労組は、3月23日10時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要求					回答				
		正職員	準職員			再雇用 嘱託職員	正職員	準職員			再雇用 嘱託職員
			A	B	C			A	B	C	
最低賃金		時間額1,150円、日額8,430円、月額177,100円 への引き上げ					要求通り				
基本賃金	改善内容	6,000円					1～3等級 3,000円 4～5等級 2,000円	3,000円			継続協議
一時金		4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2	要求通り	要求通り	要求通り	要求通り	要求通り
昨年実績		4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2	4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2
安定雇用	無期転換	－	(実現)			－	－	(実現)			－
雇用環境	私傷病休職	－	(実現)			－	－	(実現)			－
	育児時短	(小学校3年生まで)					－	(小学校3年生まで)			－
単組独自要求		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

《金庫の発言概要》

- 今春闘は、物価上昇や社会保障費の増加による実質的な可処分所得の減少への対応や、労働組合としての社会的役割の発揮、今後の人財確保や職員・組合員のモチベーション向上等の観点等、労組が組成された要求主旨は理解できるものである。一方、金庫としては、厳しい経営状況は当面続く見込みであること、基礎的収支は改善傾向にあるものの、いまだ道半ばの状況であること等を踏まえ、今できる精一杯の回答について、労組として総合的に判断いただいたものと受け止めている。
- 本日の妥結に至る交渉は、これまでに経験したことのない厳しい交渉となった。交渉過程では、金庫の経営状況の認識共有、組織・職場の課題、組合員の声と様々な観点から意見交換を行った。特に、組織・職場の課題においては、ハラスメント

に関する問題について改めて認識を深めるとともに、労使で協力してさらに取り組んでいかなければならない課題であると改めて認識一致を図れたと考えている。

- 理事長就任時から繰り返し伝えている「みんなで一緒に」何事にも取り組んでいくためには、「働きやすい」組織・職場が大前提であると考えている。働きやすい職場づくりに向けた具体的な取り組みについては、引き続き、労使が一体となって取り組んでいく必要があるため、労組の協力をお願いし、今春闘の所感とする。

《宮西闘争委員長の発言概要》

- 2023春季生活闘争は、現在の急激な物価上昇による可処分所得減少への対応や、今後の人財確保と職員・組合員のモチベーション向上等の観点に加えて、金庫の取り巻く環境と厳しい経営状況を十分勘案して要求を組み立てた。
- 労組は、厳しい状況であるからこそ、職員・組合員一人ひとりが、働きがいや金庫の将来に自信と誇りを持ち、みんなで一緒に金庫の将来・未来を創っていくためには、金庫全体が前を向いて一体感のある組織づくりを進めていくことが重要であると認識し、この認識に基づき、労使で共有した現在の課題と取り組み等について意見交換を行い、今後も労使委員会を中心に取り組んでいくことを確認できた。
- 金庫から示された回答は、要求通りではないものの、現在の物価上昇による影響や、職員・組合員の努力・奮闘を評価し、労組の要求主旨を正面から受け止め、非常に厳しい経営状況にある中においても真摯に検討され、精一杯の回答が示されたものと重く受け止め、2023春季生活闘争を妥結収拾することを判断した。
- 今後も、社会環境が大きく変化する中、大変厳しい環境下での事業運営となるが、この難局を乗り越えるためにも、労働組合や労働金庫の原点である「助け合い・支え合い」の精神を大切にしながら、近畿ろうきんの将来・未来に「自信と誇り」を持ち、事業・運動のさらなる拡大に前向きにチャレンジしていく組織風土づくりと、職場・職員間のコミュニケーション向上、誰もが働きやすく、安心して働き続けられる職場づくりに、引き続き、労働組合として全力で取り組んでいく。

単組は、①正職員・準職員の基本賃金の改善に関しては要求通りではないものの、回答内容は職場から集約した「組合員の『切実な思い』や『声』」を真摯に受け止めた結果と判断できたこと、②再雇用嘱託職員の基本賃金改善については、今後の高年齢者雇用政策協議の中で賃金水準の見直しを行う考えが示されたこと、③2023年度も労使一体となって、近畿労金の事業・運動の発展と、「労働金庫にふさわしい組織風土」の確立に取り組んでいくことを確認したこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（4単組／3月23日16時現在）

静岡・四国（金庫）・四国（関連）・北陸・近畿（金庫）

以 上